

★能力開発の哲学とテクノロジー

JADEC ニュース

NO.95 2015/5/25

【 も く じ 】

■水海道小学校の政治教育	2
学校生活の中からつかむ政治の仕組みとセンス どう育てる?! 社会の仕組みと課題をつかむ力 / 互いの意見を尊重し決める力 / 協力して進める力	
■JADECメールマガジンのご案内	14

巻頭言

フランスの男女ペア選挙

今年3月、フランスで画期的な選挙が行われた。地方議会選挙を、男女ペアの候補者に対して投票するという方式で、当選者が男女同数になるという仕組みだ。投票日のインタビューで「世界で一番進んだ選挙制度だ」と答えた老紳士がいた。男女同権の理念を実現した選挙制度というわけだ。

フランスでは2000年、議員職および公職への男女の平等なアクセスを促進する法律、候補者は男女半々としなければならないとするパリテ法が誕生した。2012年に誕生した現オランド政権では、組閣したメンバー34人中17人の半が女性、フランスで初の男女同数内閣となった。

しかしまや、男女同数の内閣は世界的に見れば珍しい事ではなく、ノルウェーもスウェーデンもほぼ男女同数の内閣である。女性参政の歴史で言えばフランスは先進国ではない。18世紀、フランス革命で世界初の普通選挙が行われたが、この時は男子のみだった。女性参政権が認められたのは日本と同じ1945年と欧米ではむしろ遅い方で、パリテ法以前の2000年のフランス下院における女性議員率は約11%だった。ここで一気に追いつき、先頭に躍り出たというわけである。

さて日本である。国会における女性議員の割合は8%、OECD加盟国の中では断トツの最下位。4月の統一地方選でも女性立候補者の割合は過半数に遠く及ばない。立候補していないのであるから結果は見るまでもなく、女性議員が過半数を超えることはない*。(結果は16.1%で、過去最高。)

一般社会においても女性管理職の割合は11.6%、女性社長は11.1%とほぼ1割だ。労働人口の男女比はほぼ6対4であるので、割合は相当に低い。女子の小学校～高校での活動では男子に劣るものではない。むしろ女子の方が元氣なくらいで主体的積極的な姿勢が見える。それが社会に出ると途端にこの有様になる。

女性の社会参画が日本の活力を高める上での条件と認識され、かなり前から「男女共同参画」「男女雇用機会均等」等の関係法案が作られてきた。現政権も女性の活躍を重要政策の一つに掲げており、2020年までに指導的立場にある女性の割合を30%にするとの目標を掲げ、施策を推進するための大臣(通称女性活躍大臣)を任命し法案も提出した。しかし法案が通り、国が掛け声をかけたからといって変わるものではない。

「女性活躍」は女性だけが頑張るものではない。女性が社会で働きやすくするための環境をつくるということが必要だが、世の中には「男と同等に仕事をすべき」と言う一方で、女は家を守り子を産み育てよという考え方が横行している。育休が終わって戻ると居場所がない、子どもが病気で早退すると白い目で見られるなど、仕事と子育てを両立させない環境が巷にあふれている。

そうした状況であるのに、該当世代の投票率は下がる一方だ。社会は自分たちで作り上げていくものだという考え方が身につけていないし、その実現のための行動手段もわからない、というのが実情ではないか。良品計画(無印良品)の松井会長は、仕組みこそが大事とその著書「無印は仕組が9割」に書いた。ただし、ここで必要なのは、誰かが考えたことを伝達してスムーズに事が進むための仕組みではない。その仕組みの中で活動しているうちに人間が育ち、仕組みをさらによいものにしていく力がつく、そんな仕組みだ。

パリテ法はよい刺激だ。我々も知恵を出そう。

(編集子)

★水海道小学校の政治教育

学校生活の中からつかむ「政治の仕組みとセンス」

研究開発部

まず、一本の社会科教材映画の紹介から、この稿を始めたい。

「私たちの学校」(1951年、理研映画)、いまから60年以上前に作られたもので、茨城県常総市(当時水海道市)水海道小学校の実際の学校委員会の活動を描いたものである。当時の水海道小学校では、運動会や学芸会、映画会といった学校行事の多くが、児童が主体となって自主的に企画運営されていた。その運動会の企画時点での対立(学年の希望種目の勝ち合い)を、児童自身が解決するまでの活動を描いている。

学校委員会での協議の結果、運動会の企画運営の責任者である体育部長が双方の学年のクラスにその主張を聞きに行き、その結果を基に学校委員会で再び協議する。委員会は、上の学年に対して希望種目を下の学年に譲るよう依頼、代わりに新しい魅力的な種目を提案する、という方法で解決するまでを描いている。

映画に描かれた子どもたちの、合意形成のために意見を集約しアイディアを出し合い協議し提案し交渉する姿、共通の目標のためにそれぞれが譲り合う行動、そして、より力のあるものがより多く譲って弱いものを守るという基本姿勢は、民主主義とはこういうものだと実感する。

こうした児童の活動は、いったいどのようにして育ったのだろうか。



映画「私たちの学校」より

1年から6年まで、全123時限のカリキュラム

4ページ以下に、茨城県水海道市立(現、常総市)水海道小学校の政治教育を紹介する。1953年に同小学校が発表した社会科カリキュラムの政治分野の単元である。次ページの表は、社会科の全単元の構成を示したもので、灰色の部分が1年から6年まで全123時限の政治分野の単元である。

1年生から4年までの積み上げは、学校生活や自治活動の中で、助け合い協力し合って生活する社会の仕組みや、生活する上でのその仕組みの重要性を体感し、ルールを自分たちで作り出していくシステムをつかむとともに、その中での活動の仕方を育てていくようになっている。

そして5年、6年では、視点を町や県、さらに国へと広げて、生活向上、個人の幸福追求、社会福祉の向上をはかるための政治機構・立法行政との関係を考えさせるように組み立ててある。

4年間の試行錯誤から

当時、水海道小学校は児童数1500~1600人の大規模校。昭和24年から、地域を建設するための人間を育てるという目標を立て、新しい教育のあり方を提唱し教育界で注目されていた矢口新(やぐちはじめ:当センター創設者)の指導を受け、カリキュラム研究に取り組んだが、中でも力を入れたのが新しい教科であった社会科である。

研究開始から4年目に発表されたこのカリキュラムは、机上のものではなく、計画—実践—修正という、試行錯誤の中で作りあげたものである。カリキュラム計画ではなく、実際に行われている学習の紹介といった方が正しい。

生活の現実からつかみとり、学校生活の中で実践する

カリキュラムにつらぬかれている理念は、現実の観察から考えること。子どもたちにとっての現実とは、学校生活、家庭生活、そして地域生活。学校の現実は、学校生活の観察と分析からつかむ。授業や自治活動、

給食、それを成り立たせる人々・施設・道具。学校生活がどのような仕組みで、誰がどのように活動して成り立っているのかを観察し分析する。学校のきまりはどういう視点から作られているか、また誰がそれを決め改善していくのか。学年ごとに視野を広げ、分析も深く掘り下げていくようになり、運営の面からだけではなく、経営的視点からも見ていくところは注目に値する。

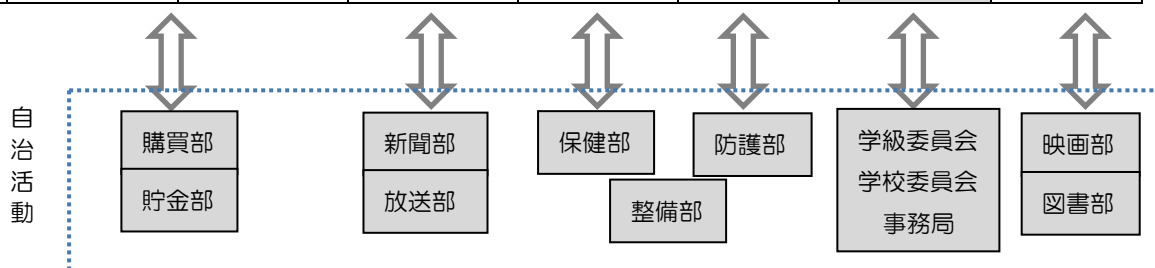
私たちは、この単元の構成と学習活動計画の中に、「社会の仕組みと課題をつかむ力」「互いの意見を尊重し決める力」「協力して進める力」を育てるための、大いなるヒントがあると感じている。内容をそのままの形で掲載したので、ご覧いただきたい。

映画「私たちの学校」は、学習の中で各学年の児童たちが、学校委員会の活動の実態をとらえるために見ることになっている。

社会科単元一覧

表中の数字は授業時間数

	生産	消費	分配流通	交通通信	健康	保全	政治	教養娯楽
一年	●おひゃくしょうさん 23		○おみせ 20	○のりもの 22	○せいけつな学校 15 ○おいしゃさん 18	○よまわり 12 ○ふみきり番 14	○世話してくれる人 18	○楽しい家
二年	●町の工場 26	○井戸と水道 20		○ゆうびん 20	○丈夫な身体 22	○おまわりさん 20 ○学校の道具 18	○私たちの学校 20	○楽しい学校 18
		○おかね 24						
三年	●農家の仕事 20	○おかあさんの仕事 20	○町の商店 25	○町の道路 25	○清潔な町 20	○火の用心 20	○学級会 20	○学校図書館 15
				○学校新聞と校内放送 20				
四年	○工業製品 30	○昔と今の住生活 20	○私たちの生活と商店 25	○自動車交通 20	○健康な生活習慣 20	○警察署 20	○いろいろなきまり 15	○いろいろなクラブ 15
				○私たちの生活と通信 30				
五年	○農業生産の振興 25	○住生活の改善 25	○小売店と問屋 20	○報道機関の拡充 25	○町の保健施設 20	○風水害防止 25	○学校委員会 25	○レクリエーション 25
六年	○工業生産の振興 25	○生活改善 25	○近代生活と商業 25	○常総線の輸送力の拡充 20	○伝染病 20	○社会福祉事業 15 ○青少年問題 15	○民主政治 25	○教養と文化生活 20



注) 表は、『地域の課題に基づく社会学習の展開』(水海道小学校/1953)より読み取った単元の構成と、自治活動との関連を整理したものである。

課題に基づく社会学習の展開計画について(抜粋)

『地域の課題に基づく社会学習の展開』水海道小学校/1953

教頭 金井 四郎

◆ 教育の目標

私たちが教育の目標として描く人間像は、地域社会の現実の生活の中に生起する種々の課題を解決してよりよき社会を建設得る生活実践者でなければならない。

◆ 単元の課題性について

問題解決学習を社会科の使命とする限りに於いて課題性のない単元展開は無意味であり、社会的漫歩にすぎないであろう。(略) 問題解決学習としての単元は、地域社会に於いて強く解決を迫っている課題(現実)を捉え、それを社会現象として見ることによって社会法則を発見し、そこから対象を考えて問題解決の曙光を見出すといった過程が筋を通して構成され展開されなければならないのである。

◆ 課題の心理性について

課題は大人の社会の課題であるから果してそれが子供の問題として適切であるかということが言われる。

子供といえども大人と同一の地域社会の現実の中に生活しているのであるから、課題である限り子供はそれぞれの段階に於いて問題を持っている筈である。(中略) 単元の構成展開にあたっては、学年のそれぞれの段階に応じて課題をより具体的なもの、より断片的な現実としてとらえていけばよいと思うのである。

◆ 課題の地域性歴史性について

地域社会の課題による単元学習はその地域の特殊な問題のために学習領域が狭く、それでは日本の課題は解決できないということを憂える向きもあるようであるが、決してそうではないと信ずる。(中略) 他の地域との比較、世界的水準との比較に於いて初めて課題となり得るからである。又課題解決ということも、同じような条件を持つ他の地域に於いてはどのような対策によって解決しているか、先進国ではどうかを研究することによって初めてよい対策を考えることが出来るのである。問題解決のためには過去の社会生活構造と如何なる関連を持ちその中に於いて人々はどのような対策を以て解決して来たかを見るのでなければ現在における歴史的使命を自覚し将来を洞察して問題をよりよく解決することは出来ないであろう。

このように課題はそれ自身空間性及び時間性をもっているのであるから、単元展開はこの構造をもつように展開されなければならないのである。私たちは地理、歴史の問題をこのような意味に於いて展開しようとするのである。

◆ 課題と道徳性について

課題解決が社会法則或は整理された現実に基づいて対策を考えることであるから、当然社会体制の確立が新たな問題として考えられるわけであり、その社会体制を問題とすることは個々人の意識の問題なのであって、それはよりよき社会を実現するための近代人としてのモラルが要請されることなのである。従って課題解決学習はよりよい社会を建設するためにどんな道徳を社会の中に実現したらよいかについての知見を開くものとなるのであって、社会学習の道徳教育に果たす役割は道徳的知見、道徳の合理性を開発することにあると思う。単元の計画及び展開にはこのような意味における道徳性が本質的に備わっているべきものであると考えるものである。

第一学年社会科単元 世話してくれる人 (18時間取扱)

学習問題	私たちは学校でどんな人々の世話を受けているか
目 標	私たちは常に、たくさんの先生方や校医さん、小使いさん、炊事婦さん、上級生の人々からお世話をうけていること、そのためにたのしい学校生活ができるのであって、これらの人々に感謝をせねばならないこと

問題	目標	学習活動	教材
<p>学校でどんな人々のお世話を受けているか 先生にどのようなお世話を受けているか</p>	<p>受持の先生がいろいろ世話をしてくれること</p> <p>どの教室にも先生がいて世話してくれること</p> <p>養護の先生が体のことについていろいろお世話してくれていること</p>	<p>○受持の先生は私たちにどんな世話をしてくれているか話合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学式から今までにどんなお世話を受けたか話合う ・校舎内の各学級をまわって受持の先生にお世話になっている様子を見る <p>○受持先生以外の先生にどんなお世話を受けているか紙芝居をみる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校医先生 担任以外の先生方のお話を聞く ・養護の先生は医務室でどんなお仕事をしているか見学する 	<p>受持の先生が直接間接にいろいろ世話をしてくれている現実</p> <p>学校にたくさんの先生方がいて間接的にいろいろお世話になっている具体例(運動会お掃除映画会等)</p> <p>入学式や集会の時に校長先生がお話してくれる現実</p> <p>同学年の先生に受持先生の留守の時お世話になっている現実</p> <p>病気や怪我の時に世話をうけた例</p> <p>病気になって休養室で世話をうけた事例</p> <p>身体検査 治療や注射で忙しい現実</p>
<p>上級生はどんなお世話をしてくれるだろうか</p>	<p>上級生が面倒を見てくれていること</p>	<p>○上級生に世話になっていることを掛図や絵本をもとにして話合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治活動で上級生でお世話になっている実際を見学する 	<p>自治活動で上級生が幻燈を見せたり放送をしてくれたりしている現実</p>
<p>炊事婦さんはどんなお仕事をしているか</p>	<p>おいしい給食をいただくことが出来るのは炊事婦さんたちのおかげであること</p> <p>給食はたくさん作るので大変な仕事であること</p>	<p>○毎日の給食は誰がどのようにして作っているかを話合ってみる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炊事婦さんの働いている様子や写真を見て話合う <p>炊事に使ういろいろな道具 衛生の設備</p>	<p>毎日ちがった献立を楽しく食べている現実</p> <p>大量のものを一度に作るので忙しく働いている現実</p>
<p>給仕さんや小使いさんはどんなお仕事をしているか</p>	<p>学校では家より大勢の人のお世話を受けていること</p> <p>迷惑をかけないようにするには決まりを守らなければならないこと</p>	<p>○どんなに沢山の人の世話を受けたか、まとめて発表してみる</p> <p>今までの見たり聞いたりしたことをまとめてみる</p> <p>○上級生や大勢の人に迷惑をかけないようにするにはどうすればよいかを考える</p>	<p>小使いさんがタンクに水を汲み上げてくれたり戸締りをしてくれている現実</p> <p>給仕さんが印刷したり電話をかけたりにしている現実</p> <p>学校にはいろいろのきまりのある現実</p>

第二学年社会科単元 私たちの学校 (20時間取扱)

学習問題	私たちの学校はどのようにして作られているか
目 標	私たちは常に、学校委員会各部、その他いろいろの組織や施設の中に生活し、上級生のお世話になっていること、私たちも、お世話になるばかりでなく、自分の力で出来るだけのことをするとともに、下級生のお世話をしなければならないこと

問題	目標	学習活動	教材
私たちはどんなに上級生の世話になっているか	私たちは上級学年学校委員会各部等いろいろな組織を通して上級生のお世話を受けていること	毎日私たちは上級生にどんなにお世話になっているか調べてみる ○教室、庭、便所等のお掃除の様子を見学しそれをもとにして話合う ・教室、庭、便所等の掃除の受持の組がちがうこと ・1年と2年の掃除当番がちがうこと	上級生が私たちの教室、庭、便所等の掃除に骨折ってくれている現実 上級生が学校全体を分担して掃除している現実
	放送が聞けるのも上級生のお陰であること	○放送実況を見学して誰がいつ、どこで放送しているのか見学した様子を文や絵にまとめてみる。その発表をもとにして話合う	放送部の力によって歌、ニュース、劇などの放送が工夫されている現実 放送時間が工夫されている現実
	上級生のお蔭で楽しい映画や幻燈紙芝居が見られること	○幻燈をみせてもらって話合いをする ・幻燈 映画 紙芝居等は誰がいつどこで見せてくれるのか ・話合をもとにして文や絵にまとめる	幕張りから機械操作に至るまで上級生の手によって行われている現実
	色々な本が見られたり学用品が便利に買えるように図書部や購買部の人々が骨を折っていること	○図書館を利用して本を読んでもみる ○図書館員が本を貸し出している様子を見学して話合う ○購買部を見学してどのように役立っているか話合う ・どこにあって何をいつ誰が売っているか	朝 昼 放課後等の休憩時を利用して上級生が本を貸し出してくれる現実 必要に応じて学用品が買えるように購買部が作られている現実
	その他にもいろいろな部があって私たちを世話してくれること	○学校にはその他にどんな部(係)があってどんな世話をしてくれるかしらべてみる	体育部 新聞部その他があって世話してくれる現実
私たちの力でもっとよい組にするにはどうしたらよいか	上級生のお世話になるばかりでなく自分たちの力でやっつけていかなければならないこと	○私たちの力でよい組にするにはどうしたらよいか考えてみる ・私たちで出来る学級の仕事にはどんなものがあるか相談してみる ・仕事の分担を決める ・映画「私たちの学校」を鑑賞しみんなの協力について話合う	いろいろな係りが協力し合あって仕事を進めている現実 映画「私たちの学校」

第三学年社会科単元 学級会 (20 時間取扱)

- 学習問題 よい学級をつくるにはどうしたらよいか
 目 標 学級の事は先生がやってくれるものと思っているが、よい学級をつくる為には、学級会を作り、誰もが意見を出し合い決まった事をみんなで協力して実行しなければならないということを考える

問題	目標	学習活動	教材
学級の中で困ったことがある時どうしたらよいか	<p>学級の中のことは学級の人たちが自主的に解決しなければならない事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級の中には、なおさなければならぬ事がたくさんあること 	<p>○学級の生活の中で困っていることには どんなことがあるか話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きまりを守る教室 ・廊下を走る人が多い ・係りの怠慢や不注意 ・男女の差別 ・共同で使用するものの使い方 <p>○各係はいままでどのような仕事をしてきたか話し合う</p> <p>○各係の仕事を表にしてみる</p> <p>○その表をもとにして各係の仕事をもっと上手にするにはどうすればよいか考えてみる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生に頼らず自分たちで相談処理すべきであることを話し合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の生活で困っていることがある現実 ・決まりが守られていない事例 ・廊下を走る人がいる様子 ・教室が整頓されていない有様 ・乱暴な子がいて女生徒を困らせる事例 ・けんかが多い現実 ・学級図書の破損したもの ・今まで僅かであるが係りが決められて仕事をしてきた現実 ・学級の中で自分達で相談できる仕事がある現実
私たちの力でよい学級にするためには学級会をどのように行ったらよいか	<p>学級会では多くの人意見を出し合わなければよい相談は出来ない</p> <p>自分たちで解決するには学級会という組織が必要なこと</p> <p>みんなが協力してきたことを実行しなければよい学級にならないこと</p>	<p>学級会を行うためにはどんな準備が必要か考える。</p> <p>○学級委員会を見学する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな係 ・みんなで意見をのべる様子 ・発表の態度 ・相談の内容 <p>○見学をもとにして学級委員会のやり方について話し合う</p> <p>○きめられたことはどのようにして実行したらよいか「私たちの学校」の映画を見る</p>	<p>学級委員会が開かれている様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議長 ・副議長 ・書記 ・(議題提供者) <p>映画「私たちの学校」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校委員会で相談している場面 ・みんなが協力して決まったことを実行している場面

第四学年社会科単元 いろいろなきまり (15時間取扱)

学習問題	学校や世の中のきまりはどのようにしてつくられているか 交通のきまりは私たちの生活にどんなに役立っているか
目 標	いろいろなきまりは私達をそくばくしていると思いがちであるが、実は、この決まりが私たちの生活を守ってくれているのである。そしてその決まりは結局、自分達が自分たちの正義と平和を守るためにつくったものである、ということを考えさせる

問題	目標	学習活動	教材
学校や社会においていろいろなきまりは私たちにどのようにやくだっているか	<p>学校生活や社会生活を営むためにきまりが必要であること</p> <p>○交通を安全にするためにきまりがあること</p> <p>○平和な明るい生活を守るためにいろいろなきまりがあること</p> <p>○学校生活を楽しく明るく過ごせるようにいろいろなきまりがあること</p>	<p>学校や社会のいろいろなきまりを調べ私達の生活にどのような関係があるか考えてみる</p> <p>○交通のきまりを調べてみる</p> <p>○世の中のきまりを調べてみる</p> <p>○学校のきまりを調べてみる</p>	<p>交通に関する種々なきまりのある現実</p> <p>・歩道、車道、交通標しき等のきまりの事例</p> <p>集団生活には必要な法律や規則がある現実</p> <p>・犯罪、火災、衛生等の事例</p> <p>楽しく明るい学校生活を営むためにきまりがつけられている現実</p> <p>・映画、パチンコ、廊下、言葉、名札、衛生などのきまり</p>
いろいろなきまりはどのようにしてつくられるか	<p>民主的な社会生活においては多くの人の総意によってきまりがつけられていること</p>	<p>学校や社会のきまりは現在民主的な組織と運営によってつけられていることを調べる</p>	
○学校のいろいろなきまりはどのようにして決められるか	<p>○学校のきまりは全校から民主的に選出された代表者により多数決で決められていること</p> <p>○委員の選出は選挙によること</p> <p>○きまりは多数決によって決められていること</p> <p>○議案はいくつかの段階を経て提出されること</p>	<p>○学校のいろいろなきまりはどのようにして決められるか調べてみる</p> <p>○私たちが困っていることはどのようにしているか話合う</p> <p>○不便は誰がどのようにして取除いているか調べる</p> <p>○学校委員会の組織を調べる</p> <p>○学校委員会の仕事を調べる</p> <p>○学校委員会を傍聴して議決の方法を調べる</p> <p>○議案提出の手続きをしらべる</p> <p>「私たちの学校」の映画を観る</p>	<p>学校生活にいろいろと不便のある現実</p> <p>自分勝手な行動が大勢に迷惑をかけている現実</p> <p>学校委員会が全体のためにいろいろなきまりを作っている現実</p> <p>学校委員会の組織票</p> <p>学級各部から代表者が出て構成されている現実。</p> <p>○昨年度今年度の実施記録簿</p> <p>議決は多数決の方法を使用している現実</p> <p>進行、議事、議案、議決方法</p> <p>個人の意思が決まるまでの過程</p> <p>議案が各学級各部から提出されている現実</p> <p>映画「私たちの学校」</p>

問題	目標	学習活動	教材
<p>○世の中のきまりはどのようにして決められるか</p> <p>○昔はどのように決められていたか</p> <p>私達が楽しい生活をするためにはどのような心構えが必要か</p>	<p>○集団生活を営むには目的と組織と秩序を守るきまりが必要であること</p> <p>○封建時代には少数の支配者によりきめられていたこと</p> <p>楽しい生活をするためには決まりに対する一般人の理解と協力がなければならないこと</p>	<p>○世の中のいろいろのきまりはどのように決められるか調べてみる 市町村の政治 都道府県の政治</p> <p>○昔はどのように決められていたか現在と比較して調べる</p> <p>世の中の学校のいろいろなきまりに対して私達はどんな心構えが必要であるか話合ってみる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級ではどうするのか ・個人ではどうするのか ・学級会を開いてみる 	<p>議事機関執行機関のある現実</p> <p>市町村の議会、都道府県の議会が構成されている現実</p> <p>議員は選挙によって選出されている現実</p> <p>封建時代の専制政治下においては少数の為政者によって決められた法令を一時的に守らなければならなかった事例</p> <p>生類憐令、 武家公家諸法度、 庶民への布令（切捨御免）</p> <p>昔と今の政治の比較表</p> <p>世の中や学校のきまりが守られていない現実</p>



学校委員会の様子

第五学年社会科単元 学校委員会 (25 時間取扱)

- 学習問題 私たちの学校生活を向上させるためには学校委員会の運営についてどのようなことを考えなければならないか
- 目 標 学校生活を向上するためには全校生徒の理解と協力によって自主的な学校委員会の活動が必要であると共にそれに要する莫大な費用が要望されるが、そのためには町当局及び一般社会人の教育に対する認識が高められねばならないということを考えさせる

問題	目標	学習活動	教材
<p>私たちの学校生活を自主的に向上させるためにはどんな問題があるか</p> <p>○学校委員会は私たちの生活を向上させているか</p> <p>・それは如何なる原因によるのだろうか</p> <p>それらの費用を支出する事は困難であるのか</p> <p>・学校運営のための予算はどのようにして支出されるか</p>	<p>現在の学校委員会が学校生活を向上させ得ない原因は当事者一般人の努力と関心が不十分であると共にそれを実施するためには莫大な費用が必要であること</p> <p>○学校生活を向上させるためには学校委員会の活動の目的を自覚し民主的な運営をはからねばならないこと</p> <p>・それは当事者の意識の低下と一般私達の関心と協力が不十分なことによること</p> <p>・学校委員会がいろいろな計画を遂行するためには莫大な費用を要すること</p> <p>学校を運営するための費用は町の人たちの意思を代表する組織によって広い立場から決められ支出されていること</p> <p>・学校運営のための費用は町費によってまかなわれ一年間の予算編成がされていること</p> <p>○その予算は町民の代表者として議会によって決議されていること</p> <p>○予算の執行は町教委会によって行われること</p>	<p>現在の学校委員の活動状況が学校生活の向上に貢献していない点を分析してその原因を考える</p> <p>○学校委員会に対する輿論を調べ学校生活の向上に貢献していない点を分析する</p> <p>・学校委員会の運営状況、各部の活動状況をしらべる</p> <p>・学校委員会の活動のための難点について話し合い</p> <p>・その目的を十分に達しえない原因を考える</p> <p>予算の決議支出について調べ学校委員会の活動に必要な費用は容易に入手できるかどうかを考える</p> <p>・学校運営費について</p> <p>・どこで負担しているか</p> <p>・どれ位どのように用意されているのかを調べる</p> <p>その予算の決定されるまでの手続きについて調べる</p> <p>○きめられた予算はどのようにして運営されるかをしらべ町教委会の役割を考える</p>	<p>学校委員会が私たちの生活向上に貢献していないという輿論調査統計</p> <p>委員の考え方、発言、態度の実態</p> <p>部員の活動の実態</p> <p>一般者の無関心な状況</p> <p>会議において不合理なることが議決された事例</p> <p>映画（私たちの学校）</p> <p>学校委員会が設備改善計画しても費用の点で実現できなかった事例</p> <p>理想的な活動のためにする見積書各種</p> <p>町費によってまかなっている現実</p> <p>それは町民の負担している現実、予算書が編成されている現実</p> <p>町議会が構成されている現実</p> <p>町議員が町民の代表者として選出されている現実</p> <p>予算編成が幾多の手続きによって決議されている現実（原案提出、委員会、本会）</p> <p>決議された予算が町教委会によって運営されていく現実</p> <p>町教委会の役割</p>

問題	目標	学習活動	教材
<p>○私たちの学校をよりよくするにはこの予算で充分か</p> <p>○それはなぜか</p> <p>○当校は他と比べてどのような位置にあるか</p> <p>私たちの学校生活をよりよくするためにはどのようなことを考えなくてはならないか</p> <p>○私たちはどんなことを考えなければならないか</p> <p>○教育予算が拡充されるためにはどのようなことを考えなくてはならないか</p>	<p>○学校予算はまだ充分ではないこと</p> <p>○予算は歳入といろいろな部門の予算とのバランスを考えて広い立場から作られること</p> <p>○当町の水準は十分であるとはいえないこと</p> <p>私たちが自主的に学校生活を幸福にするためには各自がその責任を果たさなければならぬと共に、教育に対する一般人の意識が高められ、それが実現できるような社会体制が作られなければならないこと</p> <p>明るい学校生活を作るためには委員をはじめ私たち全生徒の責任と協力が必要なこと</p> <p>○そのためには一般人の意識が高められそれが実現できるような社会体制が必要なこと</p>	<p>○学校委員会が十分に活動できるための計画と予算を比較する</p> <p>○町の全予算と教育予算を比較する</p> <p>○他の部門の予算と比べて充分でないわけを考える</p> <p>○各国他町村の予算額と当町のそれを比較して当町はどのような水準にあるか、教育予算の全体傾向を考える</p> <p>楽しい学校生活をつくりあげるためには私たちはどのような心構えが必要であるか、またそのための予算措置を講ずるためにはどうしなければならないかを考える。</p> <p>○学校委員会が活発に働き明るい学校にするためには私たちはどんな心構えが必要かを考える</p> <p>○教育の予算が拡充されるためにはどうしたらよいかを考える</p>	<p>町教育予算書 設備改善のための見積書 各部の提出予算</p> <p>町の全予算書 教育予算と全予算の比較した割合 教育予算と他の予算の比率</p> <p>他町村の予算書 各国の教育予算書の額 各国他町村の教育予算の一人当たりの額</p> <p>映画「私たちの学校」</p>

第六学年社会科単元 民主政治 (25 時間取扱)

- 学習問題 私たちの生活を民主的に営むためにはどのようなことを考えなければならないか
- 目 標 私たちの毎日の生活は政治と無関係のように考えて極めて無関心に過ごしているが、実は国及び地方自治体の行政に常に左右されその中において生活しているのであるから、私たちの生活向上、個人の幸福、社会の福祉増進をはかることが政治そのものであるということを自覚する必要がある。そのためには選挙、政治機構、立法行政に対する日々の関心と個人の意識を昂なければ民主政治は実現できないということを考えさせる

問題	目標	学習活動	教材
<p>誰もが幸福に学校教育を受けられるためにはどのようなことが考えられなければならないか</p> <p>○今は昔に比べどのように変わってきたか</p>	<p>社会の人々が教育の向上発展のために努力していること 然し経済的問題を伴うために実現は困難であること</p> <p>○教育の充実のためには経済的裏付けが必要</p> <p>○現在は過去の教育に比べれば民主的な傾向を辿りつつあること</p>	<p>社会の人々は私たちの教育のためにいかなる方法を講じているかその実態を分析してその中においてどのような問題があり、どんな対策をたてているか明らかにする</p> <p>○この町の教育予算はどのくらい計上されているか調べて他の町村に比較してみる</p> <p>○茨城県の教育予算はどのようなものに使われどのくらい計上されているか調べ他の府県の教育予算に比較してみる</p> <p>○国ではどのような教育費を支出しその予算はどのくらい計上されているかを調べ外国の主要国家の教育予算に比較してみる</p> <p>○公立学校の教員数を調べて私立学校や外国の学校の職員数に比較してみる</p> <p>○不就学者数を調べてどんな原因で就学しないか考えてみる</p> <p>○老朽校舎（危険校舎）の坪数を調べどうして再建が出来ないか考えてみる</p> <p>○二部授業の行われている学校を調べなぜ二部授業を行わなければならないか考えてみる</p> <p>○今は誰が教育の仕事をしているか話合ってみる</p> <p>○教育委員会の設立数を調べてみる</p> <p>○昔は誰が教育の仕事をしてきたか学校教育制度を調べてみる</p> <p>○学制発布以前は誰がその仕事をしてきたか調べてみる</p> <p>○学制発布以前と以後の就学者数を調べてそのちがうわけを考えてみる</p> <p>○教育に要する費用は誰がどのように支出していたか調べてみる</p>	<p>○水海道町予算書教育費</p> <p>○近隣町村教育予算額</p> <p>○茨城県の教育予算額</p> <p>○各都道府県の教育予算額</p> <p>○国の教育予算額</p> <p>○世界各主要国の教育予算額</p> <p>○公立学校私立学校教員数と教員一人当たり児童数</p> <p>○世界主要国の学校教員数</p> <p>○不就学児童数</p> <p>○理由別不就学者数</p> <p>○近辺の町村別危険校舎坪数</p> <p>○近辺の府県の危険校舎坪数</p> <p>○二部授業実施校数</p> <p>○地方、都県教育委員会及び事務局が教育行政を司っている現実</p> <p>○教育委員会設立数</p> <p>○文部省が中心となって教育行政をしていた現実</p> <p>○徳川時代の庶民の教育の歴史</p> <p>○学制発布以前の被教育者数</p> <p>○学制発布以後の被教育者数の累年変化</p> <p>○被教育者が費用を思弁していた現実</p> <p>○藩で教育をしていた現実</p>

<p>○教育を充実させるためには今後どうしなければならぬかどんな対策があるか</p>	<p>○予算の充実が必要であること</p>	<p>○前に調べた教育予算を見て町として県としてどんな点が問題であるか話合ってみる</p> <p>○学校教育をするための規則にはどんなものがあるか調べてみる。それがどんなふうに変えられてきたか考えてみる</p> <p>○教育行政機関の数とその組織を調べ教育充実発展のためにどのような仕事をしているか考えてみる</p> <p>○高等学校大学の在学者数を調べ一般青年との割合を出してみる</p>	<p>○教育関係法規</p> <p>○法規の変遷を表わした図</p> <p>○教育委員会設立数</p> <p>○教育委員会の組織を示す図</p> <p>○20才未満非学徒青年数</p> <p>○25才未満非学徒青年数</p>
<p>○このような不備な点をどうしたら実現できるか</p>	<p>○予算は全体的バランスを考えて編成されなければならないこと</p>	<p>○教育予算が必要なだけ計上できないのはどこに原因があるか調べてみる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算内容のバランスはどうか ・国民所得はどうか <p>○教員数確保のためにどのような対策があるか調べて教員が必要なだけ確保できない原因を調べてみる</p> <p>○教育委員会では予算編成でどんな点が困っているか調べてみる</p> <p>○未就学者、上級学校不入学者の教育が困難である現実</p>	<p>○町県国の予算の費目別に割合を示した図</p> <p>○町県国の所得額</p> <p>○教員養成機関と学生数</p> <p>○教員の退職数都心採用者数</p> <p>○教育予算を教育委員会で編成している現実</p> <p>○予算審議、議決は議会で行っている現実</p> <p>○貧困者身体障害者の修学が困難である現実</p> <p>○通信教育、定時制高校が十分に活用されていない現実</p>
<p>○今後社会の人々は民主的な教育体制を整える為にどのような努力をしなければならないか</p>	<p>教育の充実発展のためには社会の基本的体制が整えられなければならないこと</p>	<p>教育の体制を整えるための基本的問題がどこにありどのようにしなければならないかを明らかにする</p>	
<p>○制度や予算はどのようにして決められるか</p>	<p>○制度や予算は代表者（議員）によって決定されること</p>	<p>○町や県では教育予算を編成するのはどのような手順で行うか調べてみる</p> <p>○国では予算をどのようにして編成するか調べてみる</p>	<p>教育予算が議決されるまでの経路を示す図</p> <p>○国家予算が議決されるまでの経路を示す図</p>
<p>○制度や予算を決める代表者はどのようにして選ぶか</p>	<p>○民主的社会では代議制によって政治が行われていること</p>	<p>○議會議員はどのようにして選挙するか調べてみる</p> <p>○教育委員会委員はどのようにして選ぶか調べる</p>	<p>○選挙管理委員会が選挙を管理している現実</p> <p>○議會議員を選挙する手順を示す図</p> <p>○教育委員会委員の選挙の手順を示す図</p>
<p>○私たちの父兄の選挙状況はどうか</p>	<p>○選挙民の選挙への関心は濃淡があること</p>	<p>○選挙の投票率を調べてみる</p>	<p>○各種議會議員の投票率 市町村別、県別、男女別</p>
<p>○社会の人や私たちはどんなことを考えなければならぬか</p>	<p>○政治は主権者の意思によってなされなければならないこと</p>	<p>○以上調べたことをもとにして教育の発展を期するには各個人はどのような心構えが必要であることを明らかにする</p>	<p>○社会の人々が努力しているか理想通りに実現が困難である現実</p>

JADECメールマガジンのご案内

昨年11月にスタートしたメールマガジン、皆様ごらんいただいているでしょうか？

創刊号から今月の第7号までの内容をご案内します。なるほどと思われたもの、いやいや突込みが甘いと感じられたもの、テーマがいまひとつ等々、ご感想ご意見お待ちしております。

●創刊号 (2014年11月)

- [1] 安住(あずみ)さんの授業から学んだこと
人気アナウンサー安住さんが母校で展開した5分間の授業に込めたものは・・・
- [2] 「失敗」のとらえ方
- [3] 仕事が人を育てるとは
- [4] JADEC 創立者矢口新の戦後初期の活動について

●第2号 (2014年12月)

- [1] 本当の“民主主義”を育てよう！
政治のテーマはとかく敬遠されがちですが・・・
- [2] 「アクティブラーニング」教育改革の次の目玉？
- [3] できないことをできるようにする、コーチの仕事とは・・・
- [4] 子育て日記プラス(1) ピンクは着ないの
子どもの行動の変化、成長に気づくと、子育てが楽しいものになります。

●第3号 (2015年1月)

- [1] ノーベル賞受賞者たちは何を語ったか
2014年3人の日本人受賞者たちに共通した「チャレンジ精神」。そして過去の受賞者たちにも共通点が・・・
- [2] フクシマ原発災害の根源を考える
- [3] 子育て日記プラス(2) 朝の泣き別れ

●第4号 (2015年2月)

- [1] 国を越えて考えなければならないこと
- [2] 受験や入試について本当に考えるべきこと
入試を受けるために知識を詰め込む受験生。受験生たちは何を考えているのでしょうか。
- [3] 子育て日記プラス(3)
文字が読めるようになった頃
- [4] JADEC 資料室から(1)
「血圧測定原理学習用シミュレータ」

●第5号 (2015年3月)

- [1] 特集「3.11 東日本大震災、あのとき考えたこと」
熱しやすく冷めやすいと言われる日本人、4年前に何を感じ、何を考えたのか。あの時の思いを風化させないために、進むべき道を考えるために、プレイバック・・・
- [2] JADEC 資料室から(2)
「ラジオの故障発見・修理の学習システム」

●第6号 (2015年4月)

- [1] 特集「授業、その目標と効果について」
 1. 「20%の授業・・・」
 2. 「学習時間と学習効果」
 3. 「注目すべき、当然のデータ」
- [2] JADEC 資料室から(3)
「林業訓練シリーズ “造林”」

●第7号 (2015年5月)

- [1] 特集「探究的学習が育てるものは何か」
「探究的行動力」の育成は JADEC 創立以来の研究テーマです。教師の役割について考える材料をご紹介します。
 1. 一番大切にしたこと
 2. 教師たちがつかんだことは・・・
- [2] JADEC 資料室から(4)
「構案教材によるコンピュータ・リテラシー学習システム」
パルス発振器一つからスタートし、プログラムで働くコンピュータを組み上げるまでの過程で、コンピュータの働く仕組みをとらえる学習です。

★メールマガジンの登録は、JADECホームページのJADEC-NOW [おしらせ] のコーナーからが便利です。

(JADEC マガジン編集部)

【編集後記】自分たちの思いとは違う方向に国が進んでいると感じている人が多いのではないのでしょうか。というより、自分たちが思っていることが反映しないもどかしさと言った方がよいのかもしれませんが。

「その国の政治はその国の国民に比例する」フランスの哲学者ルソーの言葉です。国民の意思がきちんと受け止められた政治にできるかどうかは、国民にかかっています。自分は何をすべきなのかと考えるこの頃です。(M)

一般財団法人能力開発工学センター

〒352-0032 埼玉県新座市新堀 2-1-7-603

TEL:042-497-8024/FAX:042-497-8044

http://www.jadec.or.jp/
E-mail: info@jadec.or.jp